

音楽アンバサダー加藤昌則が誘う——あなたを平塚で音楽人に♪

読響
Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

開館5周年記念事業

vol.15



チェロ 遠藤真理



ヴァイオリン 鈴木康浩

with 素敵な音楽人へ
読売日本交響楽団



©読響

曲目 ワーグナー:「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」
～大管弦楽のための騎士的な性格の主題による幻想的変奏曲～

※曲目は変更になる場合がございます

2027年2月6日 土

15時00分開演(14時15分開場)

ひらしん平塚文化芸術ホール 大ホール

指揮 下野竜也

©Shin Yamagishi

お話 加藤昌則

【全席指定】◎S席一般 6,500円 ◎S席市民割引 6,000円 ◎A席 5,000円 ◎U22割引 2,500円

※市民割引は窓口・パンダレコード・サクラ書店販売のみ取扱い、前売のみ・要証明 ※U22割引は22歳以下対象
※未就学児入場不可 ※車いす席ご希望の方は、直接ホールまでお問合せください ※電話予約はございません

■オンライン販売 [10/12(月・祝)10:00発売] ひらしん平塚文化芸術ホール チケット購入

※会員登録が必要です(登録無料) ※セブンイレブン発券・支払可/別途、決済・発券手数料がかかります

■イープラス [10/12(月・祝)10:00発売] <https://eplus.jp/>

■ホール窓口販売 [10/13(火)10:00発売] 9:00～19:30

■パンダレコードらぼーと湘南平塚店 [10/13(火)10:30発売] 10:00～20:00

■サクラ書店ラスカ平塚店 [10/13(火)10:30発売] 10:00～20:00

現金支払い
のみ



オンライン
販売

◇主催: ひらしん平塚文化芸術ホール (指定管理者: ひらつか文化パートナーズ)

◇問い合わせ: 0463-79-9907(代表) 0463-20-9273(事業) event@hiratsuka.hall-info.jp

素敵な音楽人へ with 読売日本交響楽団



交響詩とは、音楽で物語や情景を具体的に描写することを目指した音楽作品。

リヒャルト・シュトラウスは交響詩も得意とした作曲家でした。彼は19世紀後半から20世紀半ばにかけて活躍しましたが、この時代にはオーケストラは発展して、様々な事象をリアルに音で表現することが作曲家の創意工夫で可能になりました。今の映画音楽の礎となったと言っても過言ではありません。そんな創意工夫の天才の一人がリヒャルト・シュトラウス。有名な「ドン・キホーテ」の物語も、彼の音で表現するとかくも魅力的な音絵巻になるのです。普段のコンサートではできない創意工夫の種あかしもして、この天才が描いた音絵巻、オーケストラの無限の表現世界のマジックを、素晴らしい奏者・オーケストラと体感してください。(音楽アンパサダー 加藤昌則)

ひらしん平塚文化芸術ホール
音楽アンパサダーとは?

ホール主催事業シリーズ「あなたを平塚で音楽人に」の企画監修とナビゲート役として、音楽の面白さ、奥深さを伝える「大使(アンパサダー)」です。平塚出身で全国のコンサート出演や作曲、メディアでも活躍する加藤昌則さんに、年3回のコンサートシリーズで音楽アンパサダーを務めていただきます。

出演者プロフィール

下野 竜也

Tatsuya Shimono

(指揮)

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、千葉県少年少女オーケストラ音楽監督、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。

東京国際音楽コンクール、プザンソン国際指揮者コンクール優勝。国内主要オーケストラに定期的に招かれる一方、チェコ・フィル、バルセロナ響をはじめとした国際舞台でも活躍。洗足学園音楽大学、東京藝術大学、東京音楽大学にて後進の指導にもあたる。齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞など受賞多数。NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

(管弦楽)

1962年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月からS.ヴァイグレが第10代常任指揮者を務め、サントリーホールや事業提携を結ぶ東京芸術劇場などで充実した内容の演奏会を多数開催。17年にはサントリー音楽賞などを受賞。2022年文化庁芸術祭大賞、2025年三菱UFJ信託音楽賞を受賞。演奏会の模様は日本テレビ「読響 粗品と絶品クラシック」などで放送されている。

[Official Website] <https://yomikyo.or.jp/>

遠藤 真理

Mari Endo (YNSO Solo Cello)

(ソロ・チェロ)

豊かな歌心と温かな音色で聴く者を魅了する日本を代表するチェリスト。2017年から読響ソロ・チェロ奏者を務めている。東京藝術大学を首席で卒業後、オーストリアのザルツブルク・モーツァルト音楽大学の修士課程を最高で修了。日本音楽コンクール優勝、エンリコ・マイナルディ国際コンクール第2位など受賞多数。齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。これまでにG.ボッセ、J=P. ヴァレーズ、モルロー、小林研一郎、山田和樹らの指揮で、ウィーン室内管やブラハ響など国内外の楽団と数多く共演し、高い評価を得ている。CDはエイベックス・クラシックスからリリースされ、NHK大河ドラマや映画音楽の演奏のほか、2012年から8年間NHK-FM「きらクラ!」のパーソナリティを務めるなど幅広く活躍中。

鈴木 康浩

Yasuhiro Suzuki (YNSO Solo Viola)

(ソロ・ヴィオラ)

5歳からヴァイオリンを始め、桐朋学園大学を卒業後ヴィオラに転向。宝塚バグ音楽コンクール弦楽部門第1位ほか受賞多数。2001年からベルリンのカラヤン・アカデミーで研鑽を積んだ後、ベルリン・フィルの契約団員となり、ドイツ各地で演奏。帰国後、2006年読響ソロ・ヴィオラ奏者就任。読響とは、カンブルラン指揮のペルリオーズ「イタリアのハロルド」、下野竜也指揮のヒンデミット「白鳥を焼く男」、山田和樹指揮の別宮貞雄のヴィオラ協奏曲などでソロを務めて絶賛された。

加藤 昌則

Masanori Kato

(お話)

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学院修了。作品はオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、多くのソリストに楽曲を提供している。また、共演ピアニストとしても評価が高い。さらに、NHK2020応援ソング「パブリカ」の合唱版をはじめ創意あふれる編曲にも定評がある。また、王子ホール「銀座ぶらっとコンサート Caféシリーズ」(企画・ピアノ)、横浜市栄区民文化センター リリス「リリス芸術大学クラシック学部」(企画・ピアノ)など、独自の視点、切り口で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。2016年よりNHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティ。2019年より長野市芸術館レジデント・プロデューサー。2022年4月、ひらしん平塚文化芸術ホール 音楽アンパサダーに就任。

主 催：ひらしん 平塚文化芸術ホール

(指定管理者：ひらつか文化パートナーズ)



ホールHP

X
(旧Twitter)

Facebook

交通
アクセス

電車でお越しの方 JR東海道本線「平塚駅」西口徒歩8分
バスでお越しの方 神奈川中央交通「平塚文化芸術ホール前」徒歩2分または「見附町」徒歩4分

〒254-0045 神奈川県平塚市見附町16-1

※専用駐車場(有料)は施設前(ホール南西側)にごございます。

※駐車場はございませんので、なるべく公共交通機関をご利用ください。